

**【概要】**

公開日：2020年6月30日

日本：米国政府は人身取引に関する報告書（**Trafficking in Persons Report**）の中で外国人技能実習制度の問題を取り上げ、日本を格下げ。

米国国務省は、2020年の人身取引に関する報告書の中で、日本を Tier2 に格下げしました。このレポートでは、人身取引と闘う各国の取り組みを評価しています。報告書は、「日本は、人身取引の撤廃のための最低基準を完全には満たしていないが、そうするためかなりの努力はしている」と述べています。国務省はその評価の一環として、技術実習制度における強制労働の申し立てに特に注意を向け、日本政府が過剰な求人料に関して対応していないことを強調しています。

Caux Round Table